

本発表は 2018 年 10 月 16 日に発表したプレスリリースの日本語版です。



SWIFT—フィンテックによるイノベーション推進のため API テスト用 サンドボックスを提供開始

API テスト用サンドボックスの提供を通じて、イノベーションの実現と 日本のフィンテックベンチャーを支援

シドニー、2018 年 10 月 16 日—SWIFT は、金融業界におけるフィンテックのイノベーションとその商業化の促進を支援するため API 用サンドボックスの提供を本日、シドニーで発表しました。

改正銀行法として知られる本年 6 月に施行された銀行法では、ユーザーセキュリティの確保を前提に今後金融機関とフィンテックベンチャーの間で起こるオープンイノベーションを明確に謳っています。本邦金融機関へのサポートに注力すべく、SWIFT は API 用サンドボックスを開発し、フィンテック企業や他の決済事業者が市場インフラとの接続を安全にテストできる環境を提供します。

金融業界のテクノロジーカンパニーである SWIFT は、オーストラリアにおいて New Payments Platform (NPP) の開発を担う NPP Australia と協働で NPP 用 API サンドボックスを開発しました。これはクラウド上に置かれた最新のセキュリティ技術で保護された環境です。これにより開発者は API を通じた NPP の機能を理解しテストすることが可能になりました。

更に NPP 基盤に対して標準化、相互運用性、安定的な利用を推進する API フレームワークが提供されました。SWIFT と NPP は協働で API フレームワークを開発し、ISO20022 に即した技術的な方向性を示しました。

SWIFT 日本代表であるアラン・デルフォッセは次のように述べています。「SWIFT は長きにわたって金融セクターにおける技術革新を推進してきました。この API サンドボックスは近年盛んになっている API テクノロジーを推し進めるにあたり歓迎すべきステップです。オーストラリアの API サンドボックスは日本のフィンテックと企業にとって重要な参考例となると考えます。日本の金融市場がオープンイノベーションに向かうなか、プロトタイプと市場展開の前に、独立したオープンで安全なソリューションとして確立することで、決済コミュニティにおける新たな競争をサポートすることができます」

最初の NPP 用 API フレームワークには広範囲のフィンテックおよび決済コミュニティ用に 3 つのサンプル API が文書化されました。これらは以下の通りです。

- **PayID Resolution Request** – 銀行口座を特定するために関連した個人またはビジネスの ID と紐づけするもので、例としては携帯電話番号やメールアドレスがあります。
- **Payment Initiation Request** – NPP の参加者に対して NPP 経由の送金を指図するためのものです。
- **Payment Status Request** – NPP 送金のその時点での状態をチェックするためのものです。

これらの API の動きを模倣できる NPP の API サンドボックスは、外部の第三者に NPP に基づいたソリューションを開発・テストする独立した環境を提供し、NPP を利用したペイメントサービスに関するイノベーションと競争を促進します。API とテスト機能はオーストラリアのフィンテック企業が要望してきたものでした。

各国の当局は今後さらなるオープンバンキングが進むトレンドを踏まえ、金融機関間の相互運用性に対する需要が高まることを認識しています。サンドボックスはこれらを背景として開発されたものです。

SWIFT は業界の中立的なファシリテーターという独自の立場を生かして、分散、分離、不要な複雑化を防ぎ、顧客が求める付加価値のあるサービスの構築が阻害されない様に中心的立場で対応をします。

NPP Australia の CEO である Adrian Lovney 氏は以下のように述べています。「NPP が他国のリアルタイム決済基盤と一線を画しているのは包含的かつオープンアクセスを可能にするデザインで構成されているからです。従って各企業やイノベーションを推進するイノベーターはどのようにして NPP の機能を活用できるかを理解するチャンスが与えられています。テスト環境はどのようなイノベーションタイプであろうと、何にフォーカスしているかによらず第三者のサービス提供者やソフトウェア開発者と参加金融機関がテストを実施し NPP の利便性と機能について理解できるように用意されています」

数十年にわたる金融基盤の提供者リーダー的存在である SWIFT は、最新のフィンテックに対しても対応をします。この API サンドボックスはフィンテック・イニシアティブが求める主要なニーズに応える一例であり、本邦のフィンテック企業と銀行が共に開発を推進出来るよう準備しました。

-#####-

お問い合わせ:

ウェーバーシャンドウィック SWIFT 担当 トウ、岩田、原田
03-5427-7411
swiftjapan@webershandwick.com

サンドボックスの詳細については info@nppa.com.au 宛にご照会ください。

国際銀行間通信協会(SWIFT)について

SWIFT はメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。SWIFT は金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、認証、分析、規制コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。

SWIFT は 200 を超える国と地域における 11,000 以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。SWIFT 自体は資金を保有せず、顧客の口座を管理しないものの、グローバル・コミュニティのユーザーに対し、金融メッセージを確実に交換する方法を提供することで安全なコミュニケーションを可能にします。これにより、国内外の金融取引に加え、世界中の貿易と商取引を支えています。

SWIFT は信頼できるプロバイダーとして卓越した運用を絶えず追求し、コミュニティによるサイバー攻撃への対処をサポートします。またコストを軽減し、リスクを削減し、業務の非効率をなくす方法を常に模索しています。当社の製品およびサービスは、コミュニティ内のアクセスと統合、ビジネス・インテリジェンス、参照データと金融犯罪コンプライアンスのニーズをサポートします。また SWIFT は国際・地域・国内レベルで金融コミュニティを取りまとめ、市場慣行の形成やスタンダードの定義、共通の関心分野に関する議論を推進しています。

SWIFT はベルギーに本社を置き、国際的なガバナンスと監督を通じて、組合体制の中立的かつグローバルな特性を發揮します。また、グローバルなネットワークを通じて、すべての主要な金融センターで積極的に活動を展開しています。

NPP Australia について

New Payments Platform は決済基盤として複数銀行やビルディングソサエティ、信用組合に口座を持つ顧客がリアルタイムかつデータ量の豊富な決済を 24 時間いつでも実行できるように作られています。本年 2 月にカットオーバーし、70 の銀行、信用組合、ビルディングソサエティが NPP に基づいたサービスを提供しています。今後更に多くの金融機関が参加することが見込まれています。現在 50 百万以上の口座が NPP を通じて送金の受け払いが可能になっており、日々その数は増加しています。

2014 年 12 月に業界全体のコラボレーションを通じて NPP Australia Limited (New Payments Platform) が設立され新たなプラットフォームの構築と運用を管理しています。NPP Australia は SWIFT を共同パートナーとし、基盤構築に責任を持ち、オーストラリアの金融サービスセクターに対して基盤提供を通じて競争を促進しています。NPP Australia は 13 の当初参加銀行が共同出資しています。